

2005 春日井市民第九演奏会



指揮
アレキサンダー・ドウルチャー



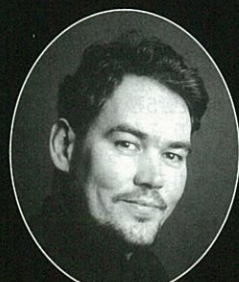
ソプラノ
久保かしづ



アルト
牧野真由美



テノール
川野名康夫



バス
アルベルト・ペーゼンドルファー

とき **2005年12月4日** (日) 午後3時開演 (午後2時開場)

ところ **春日井市民会館**

入場料 **1,000円** [全自由席] (消費税込)

指揮 アレキサンダー・ドウルチャー
ソプラノ 久保かしづ テノール 川野名康夫
アルト 牧野真由美 バス アルベルト・ペーゼンドルファー
管弦楽 春日井市交響楽団 合奏指導 加藤完二
合唱 春日井第九合唱団 合唱指導 吉川 朗

曲 目 ベートーヴェン作曲
交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

■ チケット取扱い場所(発売日10/5(水)より)
春日井市民会館・文化フォーラム春日井2F文化情報プラザ・春日井市役所2F情報コーナー・春日井市内各ふれあいセンター(味美、高蔵寺、南部、西部)・坂下公民館・清水屋案内所・サンマルシェ案内所・ルネック7F管理事務所

主催／春日井市・春日井市教育委員会・(財)かすがい市民文化財団
2005春日井市民第九演奏会実行委員会
共催／春日井市交響楽団・春日井第九合唱団
後援／中部大学・中日新聞社

お問い合わせ先

2005春日井市民第九演奏会実行委員会 ☎0568-51-1111
春日井市文化課 ☎0568-85-6079

指揮者 アレキサンダー・ドウルチャー Alexander Drcar

いま、ヨーロッパのオペラやコンサートでもっとも活躍中の実力派ベテラン指揮者。1966年ミュンヘン生まれ。1992年にウィーン音楽大学の大学院で指揮のディプロマ（資格証明）を取り、オーストリア教育省から名誉賞を受けました。大学では、指揮をカール・エスターライヒャーに、作曲をトーマス・クリスチャン・ダヴィットに、コンサート・ピアノをノエル・フローレスに学びました。ハラルド・ゲッツの下でオペラ指導者（コレペティトゥア）としての研鑽を積みしました。1995年以来、クラゲンフルト（オーストリアのケルンテン州の首都）の準音楽監督をはじめとして、ハンブルクやマイニンゲンやミュンヘンやバルセロナの歌劇場を中心に、

モーツァルト（《フィガロの結婚》・《コシ・ファン・トッテ》）からベルク（《ルル》）まで、幅広いレパートリーを高度の演奏で聴かせて多くのファンを集めています。1997年以来、春日井市の「第九演奏会」の指揮者として数度来日。特に愛環音楽連盟との関係も深く、「歌劇《こうもり》：オルロフスキー邸へようこそ」（1999）や「千人の第九」（2000）でも指揮をつとめました。2005年の2月にも来日して、愛知芸術センタープロデュース「プレ愛知万博：青髭城の扉」を指揮して絶賛をえて、愛知万博の秋の愛知県ウィークのオープニングで「愛・地球の環音楽祭」の「第九」を指揮しました。

ソプラノ 久保かしづ

Kubo Kashidzu

武蔵野音楽大学卒業。東京音楽大学研究科（現在音楽院）オペラコース終了。その後同大学オペラコース助手を務めました。第29回滝廉太郎記念音楽祭声部日本高等学校独唱コンクールで最優秀賞。長崎県の「第九」演奏会のソリストをはじめ、東京・福岡・北九州・長崎を中心にソロ・リサイタルやオーケストラとの協演など多くの演奏会に出演しています。《椿

姫》の主役などオペラでの活躍はめざましく、最近では「第19回国民文化祭ふくおか2004」のオペラ《仮面舞踏会》でピエール・ジョルジョ・モランディの指揮により主役のアメリアを歌い好評を博しました。二期会会員。

アルト 牧野真由美

Makino Mayumi

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。小中はるみ（中部大学客員教授小中陽太郎夫人）、加藤綾子、青木美穂子の各氏に師事。モーツァルトの「レクイエム」、ベートーヴェンの「第九」、マーラの「復活」、ヴェルディ「レクイエム」などでソロを歌っています。ドイツ・リート中心のリサイタルも開き、オペラでは、「カルメン」の主役、《フィ

ガロの結婚》のケルビーノやマルチェリーナ、《アドリアーナ・ルクブルール》のブイヨン公妃、《リゴレット》のマッダレーナを得意としています。第3回藤沢オペラ・コンクールで奨励賞、第30回イタリア声楽コンクールで金賞。実力派のアルト歌手です。

テノール 川野名康夫

Kawanona/Yasuo

1972年東京生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後、イタリア ジェノヴァのニコロ・バガニーニ国立音楽院で研鑽を積みしました。南イタリアのフォッジャで開かれたジョルダノ祭で《アンドレア・シェニエ》に出演。サンタ・マルゲリータ・サマー・オペラ祭では、「愛の妙薬」のネモリーノ、《椿姫》のアルフレードで出演。2004年ヨーロッパ・ツ

アーに《蝶々夫人》のゴローで出演。その歌唱力・演技力で絶賛を受けました。《トスカ》《ボエーム》《トゥーランドット》、ベートーベン「第九」などを歌い、イタリアと日本を中心に活躍の幅を広げています。昨年の春日井市民第九演奏会・中部大学音楽祭に引きつづいて出演。

バス アルベルト・ペーゼンドルファー Albert Pesendorfer

オーストリア生まれの若きバス歌手。リンツのブルックナー音楽院で学びました。ウィーンでワルター・ムアーに師事。リンツ州立歌劇場やウィーン芸術家歌劇場と契約。低い、深みのあるバスが持ち役で、モーツァルトの歌劇「後宮よりの誘拐」のオスミン、「ドン・ジョヴァンニ」のレオロ、
「魔笛」のザラストロ、アリア、ヒャルト・シュトラウスの「薔薇の

騎士」のオックス男爵、ワーグナーの楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》のハンス・ザックスを得意としています。ベートーヴェンの「第九」でも、ペーゼンドルファーが出す深いバスの響きは聞きものです。初来日。

管弦楽 春日井市交響楽団

市民オーケである春日井市交響楽団は、第九の演奏会を春日井でも開きたいという市民の要請から生まれました。それを受けて、「市民が演奏し・市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として、市内の音楽愛好家を中心に、1990年（平成2年）11月に創立されました。愛称『カポ』（KAPO）は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」（capo 頭・先頭に立つ者）の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。今年は、特に愛知万博の「愛・地球の環音楽祭」（9月13日）に愛環音楽連盟のオーケ

ストラとして参加しました。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる60名。私たちにあって、最大の喜びは、一人でも多くのみなさまに演奏会においていただき、クラシック音楽が好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。これからも、さらに、市民のみなさまに親しまれ、愛されるカポとして、市民音楽活動をつづけて参ります。温かいご支援をお願いいたします。

(団長・花村浩克)

合唱 春日井第九合唱団

平成5年12月の春日井市制50周年は、市民の手によるベートーヴェンの「第九演奏会」の春日井初演によって盛大に祝われました。この演奏会を記念して作られたのが、「春日井第九合唱団」です。以後、毎年12月には、新しく募集した市民も加わって、220名を越すメンバーが常に新鮮なベートーヴェンの「第九交響曲」を歌い継いできています。創立以来、ベテランの吉川朗先生をはじめ、多くの優れた音楽家のご指導で、技術的にも、音楽的にも、完成度の高い「第九」演奏を心がけています。平成7年からは、年末の「第九」の本練習に入る前に、特別練習として数々の合唱作品に挑

戦っています。本年6月18日（土）には、文化フォーラム春日井の交流アトリウムにおいて「アトの祭り」の演奏会に出演致しました。また9月13日（火）には愛知万博のEXPOドームにおいて「愛・地球の環音楽祭」に愛環音楽連盟の合唱団700名・オーケストラ90名という壮大で歴史的な演奏会に出演致しました。今年13回になる「第九」はアレキサンダー・ドウルチャーさんの指揮で、さらに美しいベルカントな演奏が出来るものと張り切っています。ご期待下さい。

(団長・山田伊素子)

〈万博の響きを春日井で〉

今年の私たちは、なんといっても愛知万博です。みなさんは、なんと万博へお行きになりましたか？春日井第九合唱団も春日井市交響楽団も、秋の愛知県ウィークの開幕を飾る「愛・地球の環音楽祭」に出演しました。合唱団は愛環音楽連盟の仲間と一緒に700名の多き数を数え、オーケストラは90名の大オーケストラとなりました。指揮は、おなじみのアレキサンダー・ドウルチャーさんでした。「フォー・ゴット！」と700人が大声で歌ったとき、万博ドームの天布が揺れ、残響5秒を記録しました。万雷の拍手にこたえて、アンコールはいつもの春日井第九のように「愛こそ歓喜」を会場の3000人のみなさんとゲストの五木ひろしさんとともに歌いました。感激の一瞬でした。そしてこの「第九」を歌う喜びは、「春日井第九演奏会」から始まったことを思い出しました。さあ、そしていよいよ、恒例の「春日井市民第九演奏会」です。「万博の響きを春日井で」と、指揮のドウルチャーさんも第二のホームランド春日井での演奏を手ぐすね引いて待っています。ソリストには、ウィーンで活躍中のバス歌手アルベルト・ペーゼンドルファーさんをお招きしました。そして昨年好評のテノール川野名康夫さんに新たに久保かしづさんと牧野真由美さんが加わります。市民のみなさまに一年分の喜びと感動をまとめてお送りする「春日井市民第九演奏会」です。市民のための、市民による、市民の「第九」に、ご家族おそろいでお出かけ下さい。お待ちしております。

春日井市民第九演奏会音楽監督 都築正道（中部大学教授）

※都合により出演者の変更がある場合があります。